

# 吹き流し班

班員 有村 金井, 佐藤, 高山, 久山, 水野谷

## 目的

- 正確な風向き,風速を測る

## 目標

- 正しい風向き,風速を測れるようにする
- 観測するために丈夫で簡単に制作できる吹き流しを設計する

## 風向,風速の 観測方法

- 風向き タコ糸の方向と逆向き

観測した瞬間に測定する

# 風向,風速の 観測方法

- 風速
- 前後5秒間で振れの平均を記入する

[観測記録用紙] [実際風速]

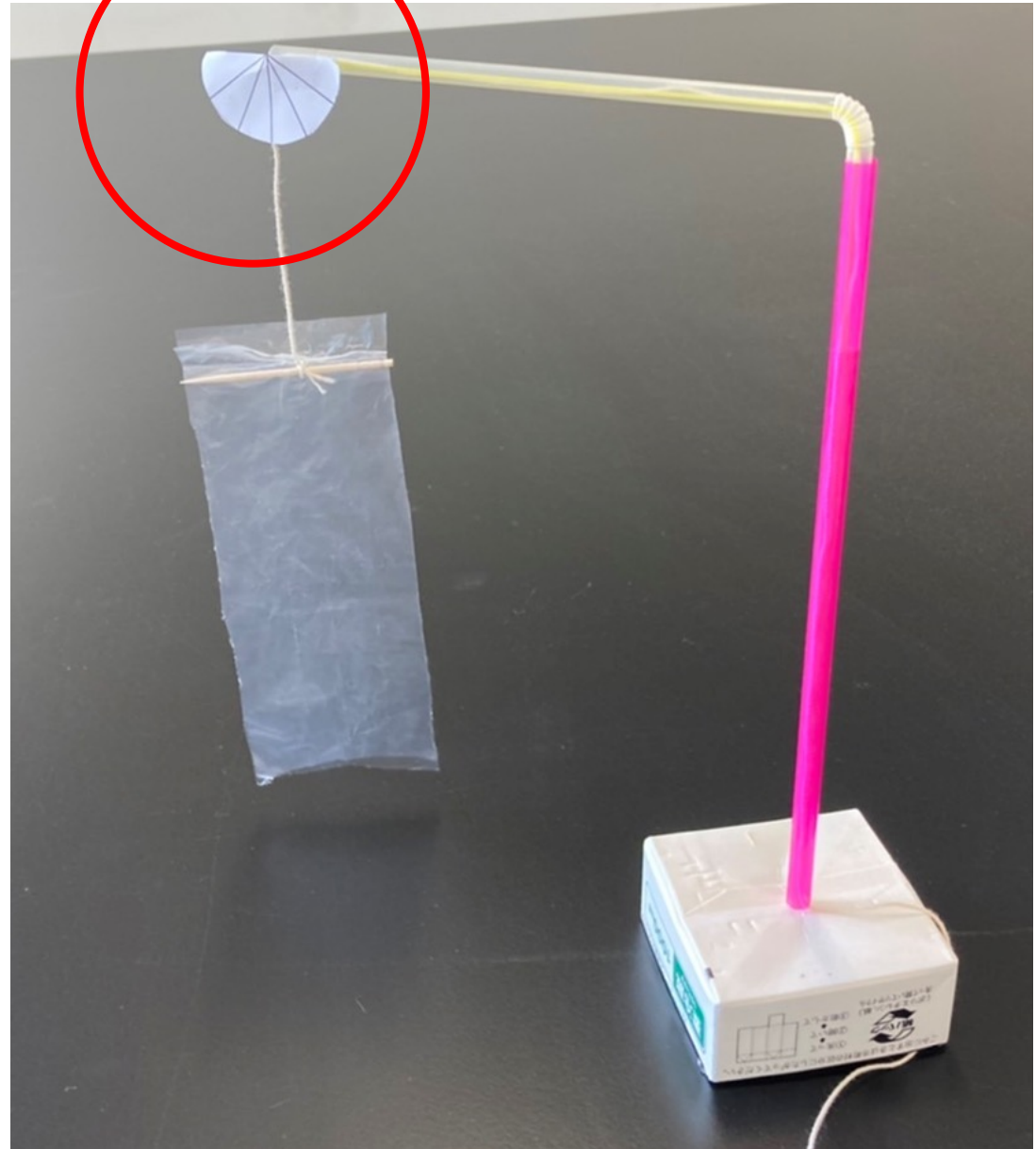
「記入なし」=無風  
「0」=風速0~0.5 m/s  
「0.5」=風速0.5~1.0 m/s  
「1.0」=風速1.0~1.5 m/s  
「1.5」=風速1.5~2.0 m/s

「2」=風速2.0 m/s  
の6段階に分けて記録します。

角度 (°)	0	15	30	45	60
風速 (m/s)	0	0.5	1.0	1.5	2.0

ここは異なります

完成品



## 材料

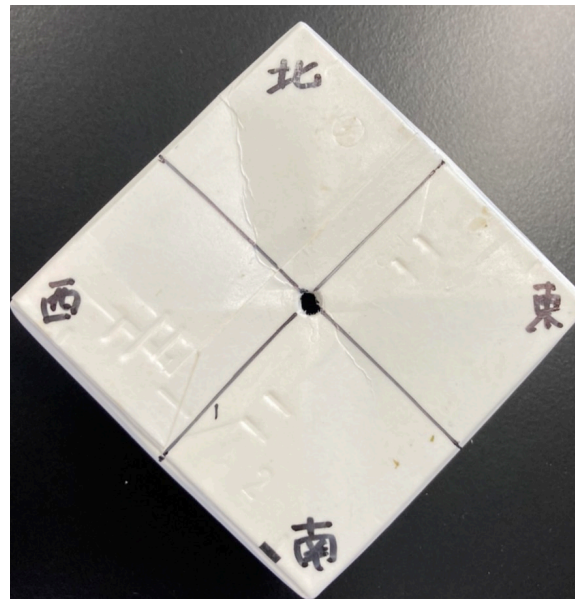
- 牛乳パック 1 個
- ストロー太い 1 本, 折れ曲がる 1 本
- タコ糸
- ビニール袋
- 割り箸
- 爪楊枝
- ガムテープ
- コピー用紙

## 道具

- 分度器
- マッキー
- はさみ, カッター

# 土台の 作り方

- 1 牛乳パックの底から3 cmに切る.
- 2 牛乳パックの底の真ん中に穴をあける
- 3 後ろに重りとして日よけでできた切りかすを後ろに張り付ける
- 4 開けた穴に割り箸を突っ込む.
- 5 ガムテープで表面を補強し, 8方位を書きこむ



# 吹き流しの 作り方1

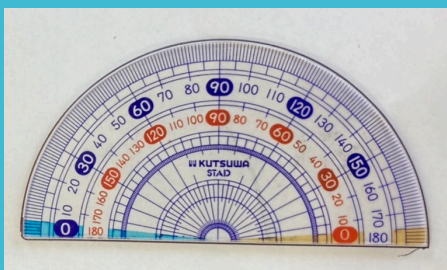
## 吹き流し本体

- 1 ビニール袋を縦に6cmに切る.
- 2 その切ったビニール袋を15cmに切る
- 3 爪楊枝の真ん中に60cmのタコ糸を括り付ける
- 4 爪楊枝を付けたタコ糸を切ったビニール袋の上に取り付ける





## 吹き流しの 作り方2



吹き流し先端の作りかた

1 分度器そのままコピー用紙に写す

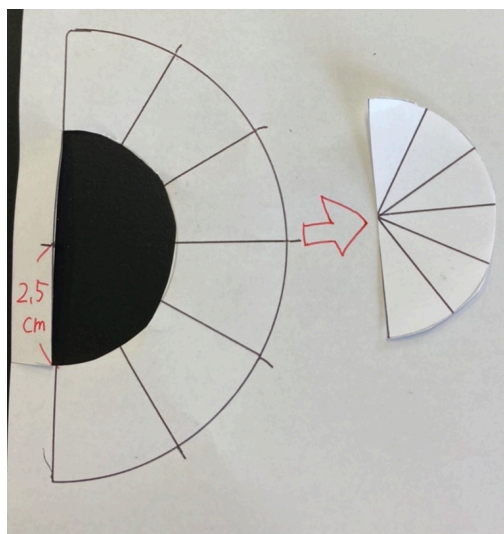
2 角度を約  $15^\circ$   $30^\circ$   $45^\circ$   $60^\circ$

に分割する

3 コピーし分割した紙を2, 5cmになるように

切り分ける

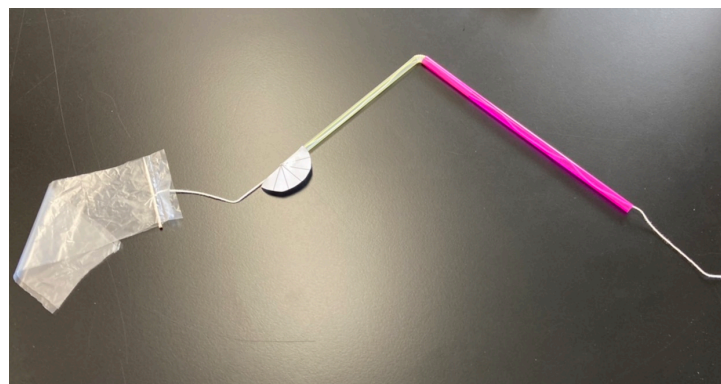
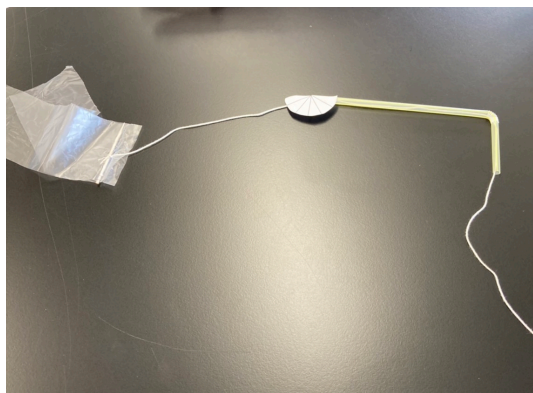
4 折れストローの長いほうの先端につける



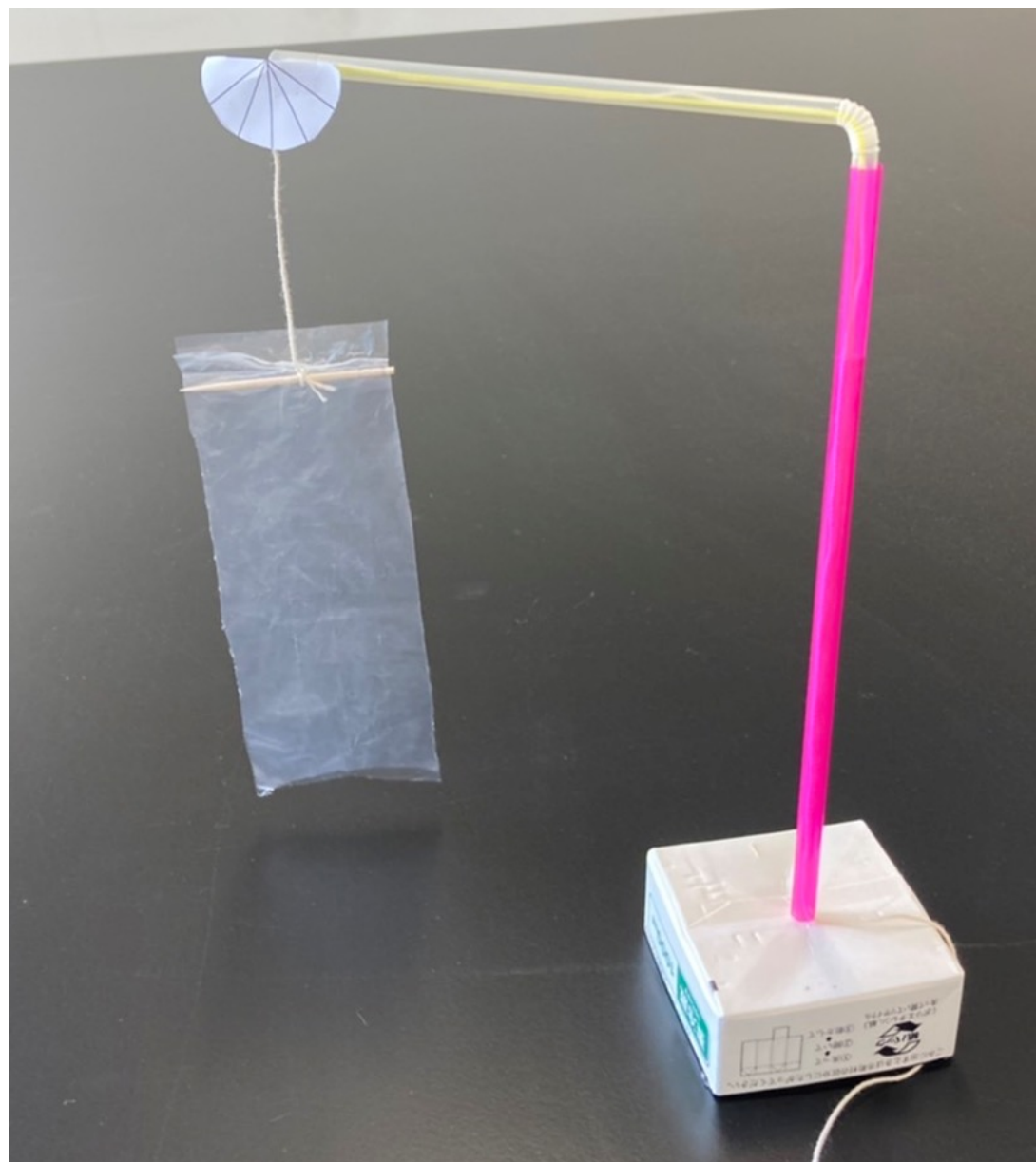
## 吹き流しの 作り方3

### 吹き流し完成

- 1 先ほど作った吹き流し先端に吹き流し本体を  
タコ糸を分度器がついている方向から入れる
- 2 そのあとに太いストローの中に糸を入れる
- 3 軽くそれぞれのストローを合体させる
- 4 そのまま土台に差し込む
- 5 その時吹き流しから出ているひもを10cm  
にする



完成！！



## 注意点

- 分度器の写真が異なっています
- 15, 30, 45, 60で記入をお願いします